

## 4. ダイナミックマップ試作検証

### 4.3 ダイナミックマップのデータ利用視点での評価

#### (1) 既存地図データと基盤的地図の連携の検討

地図調製者が持つ地図データと、基盤的地図が連携できるか評価した。

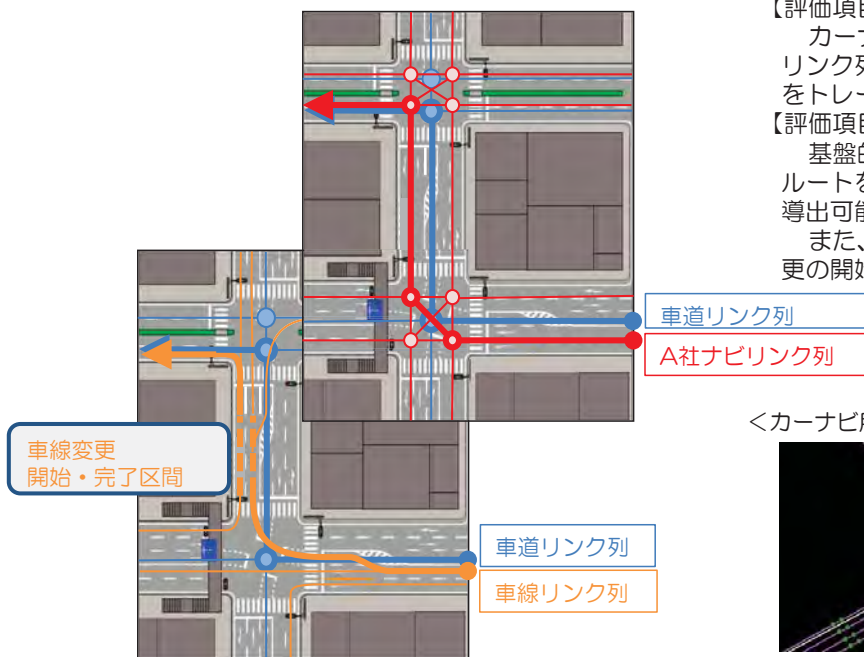
##### 【評価項目①】

カーナビ用地図データ上のルート探索結果（ナビリンク列）を入力として、基盤的地図で当該ルートをトレースする車道リンク列を導出可能か。

##### 【評価項目②】

基盤的地図の車道リンク列を入力として、当該ルートをトレースする基盤的地図の車線リンク列を導出可能か。

また、途中で車線変更が必要な場合には、車線変更の開始・完了区間を導出可能か。



<カーナビ用地図データと基盤的地図を重畳表示させた例>



図4.3-1 カーナビ用地図との車道リンク、車線リンク（左図は評価計画時点のイメージ）

##### 【評価項目③】

基盤データ（ダイナミックマップ）に付加データを追加&オーサリングし、自動走行用の利用形式として自動車会社に提供する地図データを作成できるか。

24

## 4. ダイナミックマップ試作検証

### 4.3 ダイナミックマップのデータ利用視点での評価

#### 【評価結果】

- ①②対応：カーナビ用地図と車道リンクおよび車道リンクと車線リンクの対応テーブルを作成することにより、カーナビ用地図データと基盤的地図データが連携できることを確認した。（図4.3-2、図4.3-3）
- ③対応：基盤的地図にはない地物の収録や属性追加、関連付けなど付加データの追加ができることを確認した。また、地図調整各社が仮定したフォーマットへオーサリングできることを確認した。

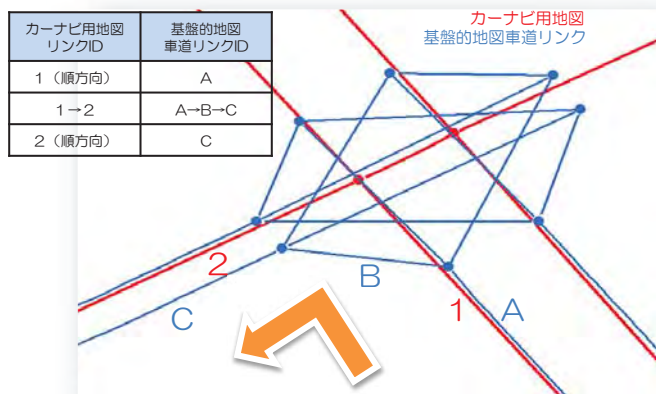


図4.3-2 カーナビ用地図と車道リンクの対応確認

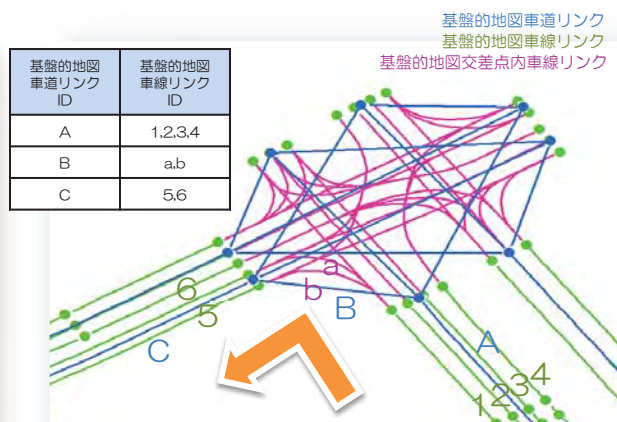


図4.3-3 車道リンクと車線リンクの対応確認

#### 【課題】

- ①大規模交差点（赤坂見附など）における対応テーブルで紐付可否の検証
- ②一般道を含む全国整備時の対応テーブル作成の効率化
- ③幾何計算に基づく仮想地物への投影のバリエーション評価

## 4. ダイナミックマップ試作検証

### 4.3 ダイナミックマップのデータ利用視点での評価

#### (2) 既存地図での動的データの表示の検討

地図調製者が持つ地図でも、ダイナミックマップデータと同様に動的データを表示可能か評価した。

##### 【評価方法】

- ①カーナビ用地図データ上で、「工事規制情報」を表示可能か
- ②カーナビ用地図データ上で、「信号現示情報」を表示可能か

##### 【評価結果】

- ①対応：前頁対応テーブルおよびマーカポイントとの対応テーブルにより、線および点で表現される「工事規制情報」を表示できることを確認した。(図4.3-4)
- ②対応：カーナビ用地図の信号機および進入リンクと紐付けることにより、「信号現示情報」を表示できることを確認した。(図4.3-5)

カーナビ用地図 ノードID	基盤的地図 車道ノードID	相対位置
1	A	XY

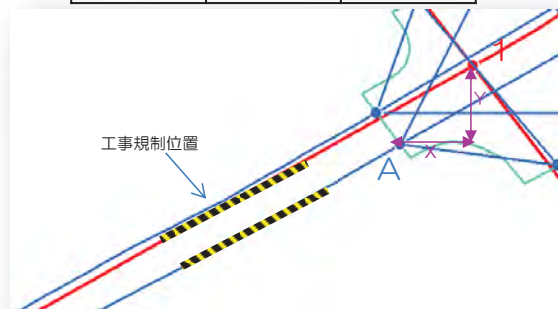


図4.3-4 既存地図データ上での工事規制情報の確認

信号機ID	カーナビ用地図 ノードID	カーナビ用地図進入 リンクID
A	10	1

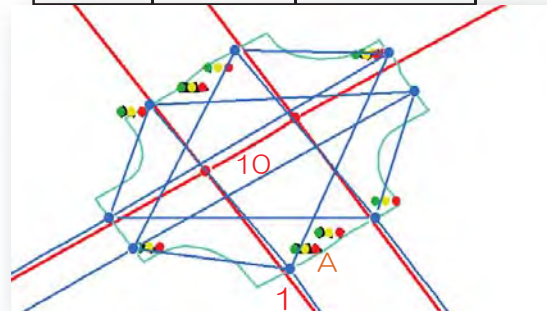


図4.3-5 既存地図データ上での信号現示情報の確認

##### 【課題】

- ①カーナビ用地図リンクと車道リンクの位置が乖離した場合の評価
- ②絶対位置で表現される情報（歩行者等）の表示精度誤差
- ③ユーザーインターフェイス設計（第1車線のみ規制、時差式信号機など）

## IV 今後の課題

No	課題	内容
1	動的データのダイナミックマップへ適用の検証	動的データ（准静的情報/准動的情報/動的情報）のダイナミックマップへの位置参照/マーカポイント方式、インフラ設備等からの情報入手などについて、今後、自動車会社での利便性やインフラ構築を検討する共に、実証実験によりダイナミックシステムの有効性を検証する必要がある。
2	ダイナミックマップ（基盤的地図）の広域での評価	今回実施した、ダイナミックマップの試作データの評価は、お台場地区の一部の道路であり、今後、試作データの範囲拡大（道路拡大）により、広く検証を実施する必要がある。
3	国際標準化への取り組み	一般財団法人日本デジタル道路地図協会が推進する「先進運転支援のための新高度DRM検討用取得地物定義（素案）」の国際標準化を支援し、ダイナミックマップの国際標準化を図る。